

## 第7章 調査票



## 第7章 調査票

### 乳幼児の事故やけがに関する調査へのご協力をお願い

かねてから、鹿児島市政にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

本市では、世界基準の安心安全都市を目指して、WHO（世界保健機関）が推奨する「セーフコミュニティ」の活動に取り組んでいます。2016年1月に国際認証を取得し、現在、2020年度の国際認証の再取得に向けて取組を推進しています。

今回の調査は、乳幼児の事故やけがの実態の把握と、これまでのセーフコミュニティの取り組みによる効果の検証等のために実施するものです。

ご多忙中、誠に恐縮ですが、調査趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

※ この調査結果は、セーフコミュニティの推進に関する以外の目的では一切利用いたしませんので、率直なご意見をお聞かせくださいますよう、お願いいたします。

セーフコミュニティとは、「事故やけがは原因を調べ対策を行うことにより、予防できる」との考えのもと、さまざまな統計データやアンケートなどの分析結果に基づき、地域住民、行政、関係団体などが協働して事故やけがを予防する取り組み、またはその取り組みを進めているコミュニティのことです。

本市では、交通安全、学校の安全、子どもの安全、高齢者の安全、DV防止、自殺予防、防災・災害対策の7つを重点分野として取り組みを進めています。



※回答方法などについては、裏面をご覧ください。

● 回答にあたってのお願い

- 1 調査対象にしているお子さんの保護者の方がご回答ください。
- 2 年齢などについては、令和元年7月1日（月）現在でご回答ください。
- 3 回答の選択肢の中からあてはまるものを選んでください。  
質問ごとに回答数が決まっていますので、ご注意ください。  
（「1つ」「あてはまるものすべて」など）  
また、かっこ内には適切な言葉をご記入ください。
- 4 **令和元年9月10日（火）**までに、ご回答をお願いします。
- 5 本調査に関してご不明な点などございましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。

● 回答方法のご案内

< 郵 送 >

回答用紙に記入の上、同封の返信用封筒（切手不要）に封入してポストに投函してください。

< インターネット >

下記QRコードを読み取るか、下記URLを直接入力して、回答フォームに接続してください。

< パソコン >



< スマートフォン >



携帯電話（フィーチャーフォン）及びスマートフォンの一部（Android 4.4以前またはiOS 4以前）はご利用いただけません。

パソコン <https://www.shinsei.elg-front.jp/kagoshima2/uketsuke/dform.do?id=1564457088340>

スマートフォン <https://www.shinsei.elg-front.jp/kagoshima2/uketsuke/sform.do?id=1564457088340>

お問合せ先

〒892-8677

鹿児島市山下町11-1 鹿児島市 危機管理局 安心安全課

セーフコミュニティ推進係

電話 216-1512 FAX 226-0748

鹿児島市

市民用（乳幼児）調査票

## 令和元年度 事故やけがに関する調査（乳幼児）

※あてはまる番号等に○をつけてください。カッコ内には適切な言葉をご記入ください。

## 1 対象のお子さん（封書の宛名）のことやお住まいについて

問1 対象のお子さんについてお聞きします。

(1) 性別	1. 男児                      2. 女児
(2) 年齢 ※7月1日現在	(            ) 歳 (            ) か月
(3) 就園状況 ※7月1日現在	1. 未就園児                      2. 保育園児 3. 幼稚園児                      4. 認定こども園児 5. その他 (                      )

問2 あなた（保護者）のお住まいについてお聞きします。

(1) 現住所地 ※町名まで	鹿児島市 (                      ) 例) 山下町、谷山中央4丁目
(2) 小学校区	1. (                      ) 校区                      2. わからない
(3) 世帯構成	1. 子どもとその両親 2. 子どもとその母（又はその父） 3. 子どもとその両親とその祖父母等 4. 子どもとその母（又はその父）とその祖父母等 5. その他

## 2 セーフコミュニティについて

問3 あなた（保護者）は、事故やけがを防ぐためには、地域住民や行政、関係団体が一緒になってその予防に取り組む必要があると思いますか。（1つに○）

1. 思う                      2. 思わない

問4 あなた（保護者）は、鹿児島市が「セーフコミュニティ」に取り組んでいることを知っていますか。（1つに○）

1. 内容も含めて知っている  
2. 聞いたことはある  
3. 知らない

&lt;セーフコミュニティとは&gt;

「事故やけがは原因を調べ、対策を行うことによって予防できる」との考えのもと、さまざまな統計データやアンケートなどの分析結果に基づき、地域住民、行政、関係団体などが協働して事故やけがを予防する取組のこと。または、その取組を進めているコミュニティ。



鹿兒島市

市民用（乳幼児）調査票

問7で『1. ある』と回答された方にお聞きします。

問8 対象のお子さんのこの1年間にあった事故やけがの詳細について、回答してください。  
(事故やけがの経験が2件以上ある場合は、次のページに2件目も回答してください。)

1件目
<b>ア 事故やけがをした場所（1つに○）</b> 1. 自宅（屋内） 2. 自宅の庭など（屋外） 3. 歩道・道路 4. 公園・広場 5. 車・電車・バスなどの中 6. 海・川・湖・池 7. 商業・飲食・娯楽施設 8. 保育園・幼稚園・その他通園施設 9. 公共の場所（市の施設など） 10. その他（ ）
<b>イ 事故やけがの種類（1つに○）</b> 1. 交通事故 2. 転倒 3. 転落 4. おぼれた 5. やけど（熱湯、アイロンなど） 6. 窒息（食べ物をつまらせたなど） 7. 異物などの誤飲（たばこの吸殻など） 8. 中毒（洗剤を飲み込んだ、煙を吸ったなど） 9. ドアなどに扶まった 10. 人や物とぶつかった 11. ハサミなどの鋭利なものでのけが 12. 蜂などの虫にさされた、動物にかまれた 13. 落下物がぶつかった 14. その他（ ）
<b>ウ 医療機関を受診（1つに○）</b> 1. 家庭などでの応急処置で済んだ 2. 救急車で搬送されたが、入院・通院の必要はなかった 3. 救急車で搬送され、入院・通院した（している） 4. 医療機関を受診したが、入院・通院の必要はなかった 5. 医療機関を受診し、入院・通院した（している） 6. その他（ ）
<b>エ 未然に防ぐことができた可能性（1つに○）</b> 1. 防ぐことができた 2. 防ぐことはできなかった 3. わからない

2 件目	
<b>ア 事故やけがをした場所（1つに○）</b>	
1. 自宅（屋内）	
2. 自宅の庭など（屋外）	
3. 歩道・道路	
4. 公園・広場	
5. 車・電車・バスなどの中	
6. 海・川・湖・池	
7. 商業・飲食・娯楽施設	
8. 保育園・幼稚園・その他通園施設	
9. 公共の場所（市の施設など）	
10. その他（	）
<b>イ 事故やけがの種類（1つに○）</b>	
1. 交通事故	
2. 転倒	
3. 転落	
4. おぼれた	
5. やけど（熱湯、アイロンなど）	
6. 窒息（食べ物をつまらせたなど）	
7. 異物などの誤飲（たばこの吸殻など）	
8. 中毒（洗剤を飲み込んだ、煙を吸ったなど）	
9. ドアなどに挟まった	
10. 人や物とぶつかった	
11. ハサミなどの鋭利なものでのけが	
12. 蜂などの虫にさされた、動物にかまれた	
13. 落下物がぶつかった	
14. その他（	）
<b>ウ 医療機関の受診（1つに○）</b>	
1. 家庭などでの応急処置で済んだ	
2. 救急車で搬送されたが、入院・通院の必要はなかった	
3. 救急車で搬送され、入院・通院した（している）	
4. 医療機関を受診したが、入院・通院の必要はなかった	
5. 医療機関を受診し、入院・通院した（している）	
6. その他（	）
<b>エ 未然に防ぐことができた可能性（1つに○）</b>	
1. 防ぐことができた	
2. 防ぐことはできなかった	
3. わからない	



鹿兒島市

市民用（乳幼児）調査票

問8の『イ 事故やけがの種類』で『2. 転倒』、『3. 転落』、『4. おぼれた』、『5. やけど』、『6. 窒息』のいずれかに回答された方にお聞きします。

問8-1 問8の事故やけがの後、あなたは対象のお子さんに対する考え方や行動の変化はありましたか。（ア・イそれぞれ1つに○）

ア. 考え方の変化	1. あった	2. なかった	3. わからない
-----------	--------	---------	----------

考え方の変化の例

- （子どもを車内に残して車を離れることが危険だと思った。）  
 （タバコや灰皿が子どもの手に届くところにあると危険だと思った。）  
 （子どもが箸や歯ブラシをくわえたまま歩き回るのは危険だと思った。）

イ. 行動の変化	1. あった	2. なかった	3. わからない
----------	--------	---------	----------

行動の変化の例

- （子どもを車内に残して車を離れなくなった。）  
 （タバコや灰皿を子どもの手の届かないところに置くようになった。）  
 （子どもが箸や歯ブラシをくわえたまま歩き回らないよう注意するようになった。）

問8の『イ 事故やけがの種類』で『2. 転倒』と回答された方にお聞きします。

（※問8で1件目と2件目のどちらも『2. 転倒』と回答された場合は、1件目のものについて回答してください。）

問8-2 転倒の原因（1つに○）

1. 段差、ものに足をひっかけた
2. 友だちなどに押された
3. 手をひっぱられた（犬の散歩など）
4. すべった
5. 人や物とぶつかった
6. その他（                                  ）

問8の『イ 事故やけがの種類』で『3. 転落』と回答された方にお聞きします。

（※問8で1件目と2件目のどちらも『3. 転落』と回答された場合は、1件目のものについて回答してください。）

問8-3 転落の原因（1つに○）

1. ベッド、椅子、ソファから落ちた
2. 階段から落ちた
3. 窓、ベランダ、屋上から落ちた
4. 抱いていて落としてしまった
5. 遊具（ジャングルジムなど）から落ちた
6. その他（                                  ）

問8の『イ 事故やけがの種類』で『4. おぼれた』と回答された方にお聞きします。

（※問8で1件目と2件目のどちらも『4. おぼれた』と回答された場合は、1件目のものについて回答してください。）

問8-4 おぼれた場所（1つに○）

- |            |                    |
|------------|--------------------|
| 1. 風呂場     | 2. プール（子ども用プールを含む） |
| 3. 海・川・湖・池 | 4. その他（ ）          |

問8の『イ 事故やけがの種類』で『5. やけど』と回答された方にお聞きします。

（※問8で1件目と2件目のどちらも『5. やけど』と回答された場合は、1件目のものについて回答してください。）

問8-5 やけどの原因（1つに○）

- |                |                        |
|----------------|------------------------|
| 1. お風呂の湯・シャワー  | 2. アイロン                |
| 3. やかん・ポット     | 4. ホットプレート、炊飯器など（調理家電） |
| 5. 花火          | 6. 食べ物・飲み物             |
| 7. 暖房機（ストーブなど） | 8. その他（ ）              |

問8の『イ 事故やけがの種類』で『6. 窒息』と回答された方にお聞きします。

（※問8で1件目と2件目のどちらも『6. 窒息』と回答された場合は、1件目のものについて回答してください。）

問8-6 窒息の原因・状況（1つに○）

1. 食べ物をつまらせた
2. 手元にあったもの（おもちゃ、ボタンなど）を口に入れてしまい、つまらせた
3. おう吐物が鼻・口をふさいだ
4. うつぶせ寝
5. ビニール袋等を頭にかぶった・かぶされた
6. 添い寝で、親の腕等が鼻・口をふさいだ
7. 紐（ブラインドの紐やベルトなど）が首にまきついた
8. その他（ ）



鹿兒島市

市民用（乳幼児）調査票

問9 あなたの家庭内における子どもの安全対策についてお聞きします。

次の対策がそれぞれ必要だと思いますか。また、実際にその対策をとっていますか。

（1～18の項目ごとにア・イそれぞれについて「はい」「いいえ」のいずれかに○）

※器具や設備等がない等の理由で危険性がない場合は、「イ. 対策をとっている」の回答欄は

「はい」に○をしてください。

	ア. 必要だと思う		イ. 対策をとっている	
	はい	いいえ	はい	いいえ
1. かかりつけの医療機関や緊急時の連絡先が分かるようにする	はい	いいえ	はい	いいえ
2. 熱いお茶、味噌汁などはテーブルの端に置かないようにする	はい	いいえ	はい	いいえ
3. 調理家電（炊飯器、ポットなど）は手の届かないところに置く	はい	いいえ	はい	いいえ
4. 箸や歯ブラシなどをくわえたまま歩き回らないよう注意する	はい	いいえ	はい	いいえ
5. テーブルなどの角にカバーをする	はい	いいえ	はい	いいえ
6. たんす・食器棚などの扉があかないように安全グッズを付ける	はい	いいえ	はい	いいえ
7. 窓や扉から飛び出さないように安全グッズを付ける	はい	いいえ	はい	いいえ
8. ベランダや窓から身を乗り出さないよう近くに台座などは置かない	はい	いいえ	はい	いいえ
9. 子どもの首がかかる高さにカーテンなどのひもが垂れ下がらないようにする	はい	いいえ	はい	いいえ
10. 入浴後は浴槽のお湯を抜く	はい	いいえ	はい	いいえ
11. 一人で浴室に入れないようドアにカギをつける	はい	いいえ	はい	いいえ
12. ボタン電池や硬貨などは手の届かないところに置く （ボタン電池を使用した電子機器、財布を含む）	はい	いいえ	はい	いいえ
13. 飴、お餅などを喉に詰まらせないよう注意する	はい	いいえ	はい	いいえ
14. ドアや扉に手などを挟まないように注意する （安全グッズを付けるなど）	はい	いいえ	はい	いいえ
15. ストープなどの暖房機にガードをする	はい	いいえ	はい	いいえ
16. 階段に転倒防止柵を設置する	はい	いいえ	はい	いいえ
17. タバコや灰皿（タバコを入れたかばん等も含む）は手の届かないところに置く	はい	いいえ	はい	いいえ
18. 滑り台やブランコなど遊具の安全な使い方を教える	はい	いいえ	はい	いいえ

鹿児島市

市民用（乳幼児）調査票

## 5 子育てへの支援について

問10 子育てに関する次の施設やサービスで知っているものや、これまでに利用したことがあるものをお答えください。

（1～16の事業ごとに、ア・イそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○）

	ア. 知っている		イ. 利用したことがある	
	はい	いいえ	はい	いいえ
1. 保健センター	はい	いいえ	はい	いいえ
2. 子育て世代包括支援センター	はい	いいえ	はい	いいえ
3. 教育相談	はい	いいえ	はい	いいえ
4. ふれあい子育てサロン	はい	いいえ	はい	いいえ
5. すこやか子育て交流館（りぼんかん）	はい	いいえ	はい	いいえ
6. 親子つどいの広場（なかまっち、たにっこりん、なかよしの、いしきらら）	はい	いいえ	はい	いいえ
7. 地域子育て支援センター	はい	いいえ	はい	いいえ
8. ファミリー・サポート・センター	はい	いいえ	はい	いいえ
9. 子育て短期支援事業（ショートステイ/ワイク）	はい	いいえ	はい	いいえ
10. 育児支援家庭訪問事業	はい	いいえ	はい	いいえ
11. こどもと女性の相談室 （市役所内の児童についての悩み相談室）	はい	いいえ	はい	いいえ
12. 保育コーディネーター	はい	いいえ	はい	いいえ
13. かがしま市子育てガイド	はい	いいえ	はい	いいえ
14. 夢すくすくねっと	はい	いいえ	はい	いいえ
15. 病児・病後児保育事業（病気回復期の保育）	はい	いいえ	はい	いいえ
16. その他（ ）	はい	いいえ	はい	いいえ

## 6 その他（ご意見・ご要望など）

問11 事故やけがの予防に関して、ご意見、ご感想などありましたらご記入ください。

質問は以上です。最後までご協力いただきましてありがとうございました。  
同封の返信用封筒（切手不要）に、この調査票を入れ9月10日（火）までに、郵便ポストに  
投函くださいますようお願いいたします。

**小中学生の事故やけがに関する調査へのご協力をお願い**

かねてから、鹿児島市政にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

本市では、世界基準の安心安全都市を目指して、WHO（世界保健機関）が推奨する「セーフコミュニティ」の活動に取り組んでいます。2016年1月に国際認証を取得し、現在、2020年度の国際認証の再取得に向けて取組を推進しています。

今回の調査は、小中学生の事故やけがの実態の把握と、これまでのセーフコミュニティの取り組みによる効果の検証等のために実施するものです。

ご多忙中、誠に恐縮ですが、調査趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

※ この調査結果は、セーフコミュニティの推進に関する以外の目的では一切利用いたしませんので、率直なご意見をお聞かせくださいますよう、お願いいたします。

セーフコミュニティとは、「事故やけがは原因を調べ対策を行うことにより、予防できる」との考えのもと、さまざまな統計データやアンケートなどの分析結果に基づき、地域住民、行政、関係団体などが協働して事故やけがを予防する取り組み、またはその取り組みを進めているコミュニティのことです。

本市では、交通安全、学校の安全、子どもの安全、高齢者の安全、DV防止、自殺予防、防災・災害対策の7つを重点分野として取り組みを進めています。



※回答方法などについては、裏面をご覧ください。

● 回答にあたってのお願い

- 1 特別の注意書きがない限り、調査対象にしているお子さんの保護者の方がご回答ください。
- 2 年齢などについては、令和元年7月1日（月）現在でご回答ください。
- 3 回答の選択肢の中からあてはまるものを選んでください。  
質問ごとに回答数が決まっていますので、ご注意ください。  
（「1つ」「あてはまるものすべて」など）  
また、カッコ内には適切な言葉をご記入ください。
- 4 **令和元年9月10日（火）まで**に、ご回答をお願いします。
- 5 本調査に関してご不明な点などございましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。

● 回答方法のご案内

< 郵 送 >

回答用紙に記入の上、同封の返信用封筒（切手不要）に封入してポストに投函してください。

< インターネット >

下記QRコードを読み取るか、下記URLを直接入力して、回答フォームに接続してください。

< パソコン >



< スマートフォン >



携帯電話（フィーチャーフォン）及びスマートフォンの一部（Android4.4 以前または iOS4 以前）はご利用いただけません。

パソコン <https://www.shinsei.elg-front.jp/kagoshima2/uketsuke/dform.do?id=1564477309776>

スマートフォン <https://www.shinsei.elg-front.jp/kagoshima2/uketsuke/sform.do?id=1564477309776>

お問合せ先

〒892-8677

鹿児島市山下町11-1 鹿児島市 危機管理局 安心安全課

セーフコミュニティ推進係

電話216-1512 FAX226-0748

鹿児島市

市民用（小中学生）調査票

## 令和元年度 事故やけがに関する調査（小中学生）

※あてはまる番号等に○をつけてください。カッコ内には適切な言葉をご記入ください。

## 1 対象のお子さん（封書の宛名の方）のことやお住まいについて

問1 対象のお子さんについてお聞きします。

(1) 性別	1. 男      2. 女
(2) 年齢 ※7月1日現在	(      ) 歳
(3) 学年	1. 小学1年生    2. 小学2年生    3. 小学3年生 4. 小学4年生    5. 小学5年生    6. 小学6年生 7. 中学1年生    8. 中学2年生    9. 中学3年生

問2 あなた（保護者）のお住まいについてお聞きします。

(1) 現住所地 ※町名まで	鹿児島市（      ） 例）山下町、谷山中央4丁目
(2) 小学校区	1. (      ) 校区      2. わからない
(3) 世帯構成	1. 子どもとその両親 2. 子どもとその母（又はその父） 3. 子どもとその両親とその祖父母等 4. 子どもとその母（又はその父）とその祖父母等 5. その他

## 2 セーフコミュニティについて

問3 あなた（保護者）は、事故やけがを防ぐためには、地域住民や行政、関係団体が一緒になってその予防に取り組む必要があると思いますか。（1つに○）

1. 思う                      2. 思わない

問4 あなた（保護者）は、鹿児島市が「セーフコミュニティ」に取り組んでいることを知っていますか。（1つに○）

1. 内容も含めて知っている      2. 聞いたことはある  
3. 知らない

&lt;セーフコミュニティとは&gt;

「事故やけがは原因を調べ、対策を行うことによって予防できる」との考えのもと、さまざまな統計データやアンケートなどの分析結果に基づき、地域住民、行政、関係団体などが協働して事故やけがを予防する取組のこと。または、その取組を進めているコミュニティ。

**3 交通安全について**

問5 不慮の事故とは、交通事故、転倒、転落、おぼれる、やけど、窒息、中毒などをいいますが、対象のお子さんに対し、特に注意している不慮の事故は何ですか。  
（あてはまるもの3つまで○）

1. 交通事故      2. 転倒      3. 転落      4. おぼれる  
5. やけど      6. 窒息      7. 中毒      8. その他（      ）

問6 対象のおさんは、この1年間（平成30年7月から令和元年6月まで）に交通安全教室（小学校や中学校での講習会などを含む）に参加したことがありますか。  
（ア・イそれぞれ1つに○）

ア. 歩行者に関する 交通ルール・マナー	1. 子どもだけで参加したことがある } → 次のページ、問7へ 2. 保護者と一緒に参加したことがある } 3. 参加したことがない → 問6-1へ 4. わからない → 次のページ、問7へ
イ. 自転車の運転に関する 交通ルール・マナー	1. 子どもだけで参加したことがある } → 次のページ、問7へ 2. 保護者と一緒に参加したことがある } 3. 参加したことがない → 問6-1へ 4. わからない → 次のページ、問7へ

問6でア、イいずれか1つでも『3. 参加したことがない』と回答された方にお聞きます。

問6-1 対象のおさんが、交通安全教室に参加したことがない理由は何ですか。  
（あてはまるものすべてに○）

1. 興味がないから  
2. 参加の仕方が分からないから  
3. まだ子どもに関係がある内容ではないから  
4. 時間や場所など参加条件が合わないから  
5. 実施していることを知らなかったから  
6. 子どもと一緒に参加できる内容の教室がないから  
7. 家庭での教育で十分だから  
8. その他（      ）





鹿児島市

市民用（小中学生）調査票

問7 対象のお子さんは、歩行者に関する以下の交通ルール・マナーを知っていますか。また、実際に守っていますか。（1～5の項目ごとに、ア・イそれぞれについて「はい」「いいえ」のいずれかに○）

	ア、 知っている		イ、 実践している	
	はい	いいえ	はい	いいえ
1. 道路を渡るときは、横断歩道、歩道橋を通行する	はい	いいえ	はい	いいえ
2. 道路を渡るときは、必ず左右の安全を確認し、飛び出し、斜め横断はしない	はい	いいえ	はい	いいえ
3. 歩行者信号に必ず従う	はい	いいえ	はい	いいえ
4. 携帯電話やスマートフォンを使用しながら歩かない	はい	いいえ	はい	いいえ
5. 歩道のないところでは、道路の右側を歩く	はい	いいえ	はい	いいえ

問8 対象のお子さんは、自転車に乗りますか。（1つに○）

- |                   |   |             |
|-------------------|---|-------------|
| 1. 乗る             | } | → 問8-1へ     |
| 2. たまに乗る          |   |             |
| 3. 自転車に乗らない（乗れない） | } | → 次のページ、問9へ |
| 4. 自転車を持っていない     |   |             |

問8で『1. 乗る』『2. たまに乗る』と回答された方にお聞きします。

問8-1 対象のお子さんは、次の自転車の運転に関する交通ルール・マナーを知っていますか。また、実際に守っていますか。（1～5の項目ごとに、ア・イそれぞれについて「はい」「いいえ」のいずれかに○）

	ア、 知っている		イ、 実践している	
	はい	いいえ	はい	いいえ
1. 2人乗り、2台以上並列して運転しない	はい	いいえ	はい	いいえ
2. 傘を差しながら運転しない	はい	いいえ	はい	いいえ
3. 横断歩道は、自転車を降りて渡る	はい	いいえ	はい	いいえ
4. 携帯電話やスマートフォンを使用しながら運転しない	はい	いいえ	はい	いいえ
5. 夕暮れ時は、早めにライトを点灯する	はい	いいえ	はい	いいえ

鹿児島市

市民用（小中学生）調査票

**4 暴力（DV）について**

中学生の方のみ、お聞きします。対象のお子さんが、お答えください。

&lt;DV（ドメスティック・バイオレンス）とは&gt;

一般的には、配偶者や恋人など親密な関係の中で起こる、たたくなどの身体的な暴力や、どなりつけるなどの嫌がらせのことをいいます。DVは大人だけの問題ではなく、若者の間にも起こっていて、特に恋人との交際中にふるわれる暴力を、「デートDV」といいます。

問9 「DV」を知っていましたか。（1つに○）

1. 言葉も意味も知っていた                      2. 言葉は知っていたが、意味はよく知らなかった  
3. 知らなかった

問10 「デートDV」を知っていましたか。（1つに○）

1. 言葉も意味も知っていた                      2. 言葉は知っていたが、意味はよく知らなかった  
3. 知らなかった

問11 DVの被害者や加害者にならないための学習をしたことがありますか。  
（あてはまるものすべてに○）

1. 家庭で学んだ                                      2. 学校で学んだ  
3. その他で学んだ                                  4. 学んだことがない

問12 交際相手のことで悩んだらだれに相談しますか。  
（あてはまるものすべてに○）

1. 友人    2. 先生  
3. 家族    4. インターネット上だけでつながりのある人  
5. 相談しない

**5 その他（ご意見・ご要望など）**

問13 事故やけがの予防に関して、ご意見、ご感想などありましたらご記入ください。

質問は以上です。最後までご協力いただきましてありがとうございました。  
同封の返信用封筒（切手不要）に、この調査票を入れ**9月10日（火）**までに、郵便ポストに  
投函くださいますようお願いいたします。

**鹿児島市民の事故やけがに関する調査へのご協力のお願い**

かねてから、鹿児島市政にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

本市では、世界基準の安心安全都市を目指して、WHO（世界保健機関）が推奨する「セーフコミュニティ」の活動に取り組んでいます。2016年1月に国際認証を取得し、現在、2020年度の国際認証の再取得に向けて取組を推進しています。

今回の調査は、事故やけがの実態の把握と、これまでのセーフコミュニティの取り組みによる効果の検証等のために実施するものです。

ご多忙中、誠に恐縮ですが、調査趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

※ この調査結果は、セーフコミュニティの推進に関する以外の目的では一切利用いたしませんので、率直なご意見をお聞かせくださいますよう、お願いいたします。

セーフコミュニティとは、「事故やけがは原因を調べ対策を行うことにより、予防できる」との考えのもと、さまざまな統計データやアンケートなどの分析結果に基づき、地域住民、行政、関係団体などが協働して事故やけがを予防する取り組み、またはその取り組みを進めているコミュニティのことです。

本市では、交通安全、学校の安全、子どもの安全、高齢者の安全、DV防止、自殺予防、防災・災害対策の7つを重点分野として取り組みを進めています。



※回答方法などについては、裏面をご覧ください。

● 回答にあたってのお願い

- 1 調査対象としている方がご回答ください。(ご本人様にご回答できない場合は、ご家族の方などが、可能な範囲で聞き取り等を行いご回答ください。)
- 2 年齢などについては、令和元年7月1日(月)現在でご回答ください。
- 3 回答の選択肢の中からあてはまるものを選んでください。  
質問ごとに回答数が決まっていますので、ご注意ください。  
(「1つ」「あてはまるものすべて」など)  
また、カッコ内には適切な言葉をご記入ください。
- 4 **令和元年9月10日(火)まで**に、ご回答をお願いします。
- 5 本調査に関してご不明な点などございましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。

● 回答方法のご案内

< 郵 送 >

回答用紙に記入の上、同封の返信用封筒(切手不要)に封入してポストに投函してください。

< インターネット >

下記QRコードを読み取るか、下記URLを直接入力して、回答フォームに接続してください。

< パソコン >



< スマートフォン >



携帯電話(フィーチャーフォン)及びスマートフォンの一部(Android4.4以前またはiOS4以前)はご利用いただけません。

パソコン <https://www.shinsei.elg-front.jp/kagoshima2/uketsuke/dform.do?id=1564480546236>

スマートフォン <https://www.shinsei.elg-front.jp/kagoshima2/uketsuke/sform.do?id=1564480546236>

お問合せ先

〒892-8677

鹿児島市山下町11-1 鹿児島市 危機管理局 安心安全課

セーフコミュニティ推進係

電話216-1512 FAX226-0748

鹿児島市

市民用（一般）調査票

## 令和元年度 事故やけがに関する調査（一般）

※あてはまる番号等に○をつけてください。カッコ内には適切な言葉をご記入ください。

### 1 あなた（封書の宛名の方）のことやお住まいについて

問1 あなたの性別などについてお聞きします。

(1) 性別	1. 男      2. 女
(2) 年齢 ※7月1日現在	(      ) 歳
(3) 就労状況	1. 就労している      2. 就労していない 3. 学生(アルバイトをしている学生も含む)      4. その他

問2 あなたのお住まいについてお聞きします。

(1) 現住所地 ※町名まで	鹿児島市 (      ) (例) 山下町、谷山中央4丁目
(2) 小学校区	1. (      ) 校区      2. わからない
(3) 世帯構成	1. 単身      2. 夫婦のみ 3. 親子など、家族と同居      4. その他

### 2 セーフコミュニティについて

問3 あなたは、事故やけがを防ぐためには、地域住民や行政、関係団体と一緒にその予防に取り組む必要があると思いますか。（1つに○）

1. 思う      2. 思わない

問4 あなたは、鹿児島市が「セーフコミュニティ」に取り組んでいることを知っていますか。（1つに○）

1. 内容も含めて知っている      2. 聞いたことはある  
3. 知らない

<セーフコミュニティとは>

「事故やけがは原因を調べ、対策を行うことによって予防できる」との考えのもと、さまざまな統計データやアンケートなどの分析結果に基づき、地域住民、行政、関係団体などが協働して事故やけがを予防する取組のこと。または、その取組を進めているコミュニティ。

**3 交通安全について**

問5 あなたは、この1年間（平成30年7月から令和元年6月まで）に交通安全教室（講習会などを含む）に参加したことがありますか。（1つに○）

1. 参加したことがある } 問6へ  
 2. 参加したことがない → 問5-1へ  
 3. わからない }

問5で『2. 参加したことがない』と回答された方にお聞きします。

問5-1 あなたが、交通安全教室に参加したことがない理由は何ですか。  
 （あてはまるものすべてに○）

1. 興味がないから  
 2. 参加の仕方が分からないから  
 3. 自分に関係がある内容ではないから  
 4. 時間や場所など参加条件が合わないから  
 5. 実施していることを知らなかったから  
 6. その他（ ）

問6 あなたは、自動車を運転しますか。（1つに○）

1. 運転する } → 問6-1へ  
 2. たまに運転する }  
 3. （運転免許を持っているが）運転しない } → 次のページ、問7へ  
 4. 運転免許を持っていない }

問6で『1. 運転する』又は『2. たまに運転する』と回答された方にお聞きします。

問6-1 あなたは、自動車の運転に関する以下の交通ルール・マナーを知っていますか。  
 また、実際に守っていますか。

（1～5の項目ごとに、ア・イそれぞれについて「はい」「いいえ」のいずれかに○）

	ア、知っている		イ、実践している	
	はい	いいえ	はい	いいえ
1. 横断歩道を渡る歩行者等がいる場合は一時停止する	はい	いいえ	はい	いいえ
2. 酒気を帯びて運転してはならない	はい	いいえ	はい	いいえ
3. 運転中は、カーナビ・携帯電話などの操作を行わない	はい	いいえ	はい	いいえ
4. 夕暮れ時は、早めにライトを点灯する	はい	いいえ	はい	いいえ
5. 歩行者、自転車の傍を通行するときは、安全な間隔を空けるか徐行する	はい	いいえ	はい	いいえ

鹿児島市

市民用（一般）調査票

問7 あなたは、自動車に乗車するときは、後部座席の同乗者も含め、シートベルトを着用しなければならないことを知っていますか。また、実際に着用していますか。  
 （1～3の項目ごとに、ア・イそれぞれについて「はい」「いいえ」のいずれかに○）  
 ※運転しない、運転免許を持っていない等の理由で運転席を使用しない場合は、「イ、着用している」の回答欄は「はい」に○をしてください。

	ア、知っている		イ、着用している	
	はい	いいえ	はい	いいえ
1. 運転席のシートベルト着用	はい	いいえ	はい	いいえ
2. 助手席のシートベルト着用	はい	いいえ	はい	いいえ
3. 後部座席のシートベルト着用	はい	いいえ	はい	いいえ

#### 4 認知症に対する理解について

問8 あなたは、認知症は病気によるものだと知っていますか。（1つに○）

1. 知っている      2. 知らない

問9 あなたは、認知症への理解不足が高齢者への虐待につながることを知っていますか。（1つに○）

1. 知っている      2. 知らない

問10 認知症サポーター（認知症に関する養成講座を受講し、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者）や認知症等見守りメイト（認知症の人への対応等に関する養成講座を受講し、認知症等の高齢者やその家族の見守りや話し相手をするボランティア）について知っていますか。  
 （ア・イの項目ごとに1つに○）

	1. 養成講座を受けたことがある	2. 知っているが、養成講座を受けたことはない	3. 聞いたことはある	4. 知らない
ア、認知症サポーター	1	2	3	4
イ、認知症等見守りメイト	1	2	3	4

問10-1へ

次のページ、問11へ

問10で、ア・イいずれか1つでも『1. 養成講座を受けたことがある』と回答された方にお聞きします。

問10-1 あなたは、養成講座を受講して、認知症の方への対応に変化がありましたか。

（受講したことのある養成講座の項目について1つに○）

	1. 変化があった	2. 変化はなかった	3. わからない
ア、認知症サポーター養成講座	1	2	3
イ、認知症等見守りメイト養成講座	1	2	3

## 5 配偶者等からの暴力（DV）について

## ＜DV（ドメスティック・バイオレンス）とは＞

一般的に、配偶者や恋人など親密な関係にある又はあった者からふるわれる暴力をいい、女性も男性も被害者となりえます。社会的地位や信用、経済力、腕力などの「力」を背景に、身体的な暴力だけでなく、精神的なもの、経済的なもの、性的なものなど様々な暴力の形をとり、相手を支配しようとする行為であり、犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害です。

## 問11 「DV」を知っていましたか。（1つに○）

1. 言葉も意味も知っていた → 問12へ  
 2. 言葉は知っていたが、意味はよく知らなかった  
 3. 知らなかった } → 問13へ

問11で『1. 言葉も意味も知っていた』と回答された方にお聞きします。

## 問12 あなたは、DVの意味を知ったあとにア～エのようなことをしましたか。（ア～エの項目ごとに1つに○）

	1. した	2. していない
ア. 自分と結婚（交際）相手の関係や身近なカップルの状況について改めて考えた	1	2
イ. 誰かに相談した	1	2
ウ. 結婚（交際）相手とDVにあたる行為について話し合った	1	2
エ. DV被害者ではないかと思う知り合いに相談先を教えるなど助言した	1	2

## 問13 あなたは、次のようなことが配偶者や恋人など親密な関係にある者の間で行われた場合、それを暴力だと思えますか。（暴力だと思ふものすべてに○）

1. 平手で打つ
2. 足でける
3. 身体を傷つける可能性のある物でなぐる
4. なぐるふりをして、おどす
5. 刃物を突きつけて、おどす
6. 「誰のおかげで生活できているんだ」など言葉でおどす
7. 大声でどなる
8. 他の異性と話をすることや会うことを妨害する
9. 家族や友人と話をすることや会うことを妨害する
10. 長時間無視する
11. 交友関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視する
12. 必要な生活費を渡さない
13. 外出を制限する
14. 性的な行為を強要する
15. 避妊に協力しない



鹿児島市

市民用（一般）調査票

問 14 配偶者等からの暴力（DV）について、あなたはどのように思いますか。

（ア～カの項目ごとに1つに○）

	1. そう思う	2. ややそう 思う	3. あまりそう 思わない	4. そう思わ ない
ア. DVは人権を侵害する行為であると思う	1	2	3	4
イ. どんな理由があっても暴力をふるうべきではないと思う	1	2	3	4
ウ. 暴力をふるわれる方にも問題があると思う	1	2	3	4
エ. 暴力をふるう相手と別れたいと思えばいつでも別れられると思う	1	2	3	4
オ. DVは個人的な問題ではなく、社会的に対策が必要な問題だと思う	1	2	3	4
カ. 夫婦間の暴力であっても、警察や行政の相談機関が積極的に関わるべきであると思う	1	2	3	4

問 15 あなたはこれまでに、配偶者や交際相手から次のようなことをされたことがありますか。

（ア～エの項目ごとに1つに○）

	1. まったく ない	2. 1・2度 あった	3. 何度もあ った	4. 結婚・交際 の経験なし
ア. <u>身体的な暴力</u> なぐる、ける、物を投げつける、突き飛ばすなど	1	2	3	4
イ. <u>精神的な暴力</u> 人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなど、あなたやあなたの家族に危害を加えるという脅迫など	1	2	3	
ウ. <u>経済的な暴力</u> 生活費を渡さない、お金を返さない、又はお金の使い道を細かく確認するなど	1	2	3	
エ. <u>性的な暴力</u> 避妊に協力しない、性的な行為を強要するなど	1	2	3	

（注）ア～エはすべてDVにあたります



鹿児島市

市民用（一般）調査票

問 16 DVの被害者や加害者にならないための学習をしたことがありますか。  
（あてはまるものすべてに○）

1. 家庭で学んだ
2. 学校で学んだ
3. その他で学んだ
4. 学んだことがない

問 17 DVについての具体的な相談先について知っていますか。（ア～オの項目ごとに1つに○）

	1. 相談したこ とがある	2. 知っていて相 談する必要が あったが、し なかった	3. 知っていたが、 相談する必要が なかった	4. 知らない
ア. サンエールかごしま相談室	1	2	3	4
イ. 鹿児島市役所内の こどもと女性の相談室	1	2	3	4
ウ. 鹿児島県女性相談センター	1	2	3	4
エ. かごしま県民交流センター内の 鹿児島県男女共同参画センター	1	2	3	4
オ. 警察	1	2	3	4

問 18 病院や金融機関、公共施設等に置いてあるDVの相談先を紹介するリーフレット等（次のページのア～オ）について知っていますか。（ア～オの項目ごとに1つに○）

	1. 読んだことがある	2. 知っているが、読ん だことはない	3. 知らない
ア. カードサイズDVリーフレット （鹿児島市）	1	2	3
イ. 男性相談カード（鹿児島市）	1	2	3
ウ. DVリーフレット （鹿児島県）	1	2	3
エ. デートDV啓発誌 （鹿児島県）	1	2	3
オ. DVリーフレット （鹿児島県女性相談センター）	1	2	3

鹿児島市

市民用（一般）調査票

鹿児島市などが発行しているDVの相談先を紹介するリーフレット等

ア カードサイズDVリーフレット（鹿児島市）



イ 男性相談カード（鹿児島市）

**男性のための相談室**

☎ **099-813-0853**

「パートナーどう向き合えばいいのかわからない」「結婚の人間関係がうまくいかない」「夫婦・子ども・親の関係、仕事に関する悩みごと、心や身体に関する悩みなど、男性からの悩みを臨床心理士等の専門相談員がお受けします。

相 談 日	偶数月の第3日曜日の午後 奇数月の第3土曜日の午前	※日曜は休業 するところ があります。	表 接 ・ 電 話 要 予 約
-------------	------------------------------	---------------------------	--------------------------------------

(表)

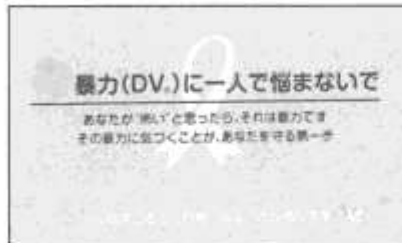
2019年度 相談日程【一人あたり50分※】(要予約)

偶数月の日曜日 13:00～15:00	奇数月の土曜日 10:00～13:00
2019年 4月21日	5月18日
6月23日*	7月20日
8月18日	9月14日*
10月20日	11月 9日*
12月15日	2020年 1月25日*
2月16日	3月21日(14時～17時)*

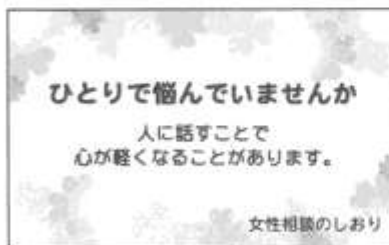
発行：鹿児島市男女共同参画推進課 ☎099-813-0853

(裏)

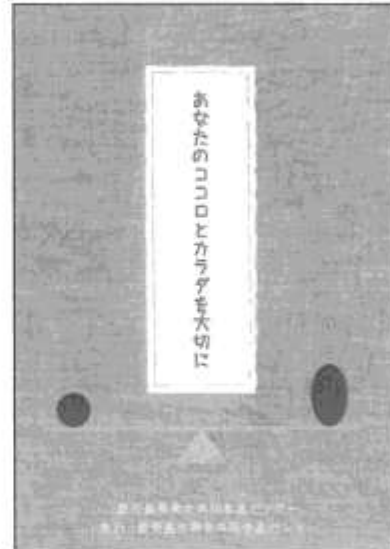
ウ DVリーフレット（鹿児島県）



オ DVリーフレット（鹿児島県女性相談センター）



エ デートDV啓発誌（鹿児島県）



鹿児島市

市民用（一般）調査票

**問 19・問 20 は男性のみお答えください。**

問 19 多くの男性は、DVを受けても相談しない傾向にあるようです。  
その理由は何だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1. どこ（だれ）に相談してよいか分からないから
2. 恥ずかしくて人には言えないから
3. 相談しても無駄だと思うから
4. 自分にも悪いところがあると思うから
5. 個人的なことなので、自分で解決すべきだと思うから
6. 相談するほどのことではないと思うから
7. DVは男性から女性へのものだと思うから
8. 相談先は女性を対象にしていると思うから
9. その他（    ）

問 20 男性の方にとってどのような相談先が利用しやすいと思いますか。  
（あてはまるものすべてに○）

1. 電話相談
2. インターネット相談
3. 面接での相談
4. 同じ問題をもつ人同士のグループ相談
5. 男性相談員による相談
6. 女性相談員による相談
7. 医師、臨床心理士、弁護士などの専門家による相談
8. 24時間受け付けてくれる相談
9. その他（    ）





鹿児島市

市民用（一般）調査票

問 23 あなたは、悩みやストレスを抱えたときにどのように対処しますか。  
 (あてはまるものすべてに○、その中で最もあてはまるもの1つに○)

	あてはまるもの すべてに○	最もあてはまる もの1つに○
1. 運動する	1	1
2. お酒を飲む	2	2
3. 睡眠をとる	3	3
4. 人に話を聞いてもらう	4	4
5. 仕事に没頭する	5	5
6. 専門の相談機関に相談する	6	6
7. 趣味やレジャーを楽しむ	7	7
8. 旅行をする	8	8
9. ギャンブル（パチンコなど）で気を紛らわせる	9	9
10. ゲームをする	10	10
11. 身近な人にあたる	11	11
12. 特に何もしない	12	12
13. その他（具体的に )	13	13



鹿児島市

市民用（一般）調査票

問 24 あなたは、この1年間（平成30年7月から令和元年6月まで）で自殺したいと考えたことがありますか。（1つに○）

1. 考えたことがある → 問 24-1 へ  
2. 考えたことはない → 13 ページ、問 25 へ

問 24 で『1. 考えたことがある』と回答された方にお聞きします。

問 24-1 自殺を考えたときの原因は何ですか。

（あてはまるものすべてに○、その中で最もあてはまるもの1つに○）

		あてはまるもの すべてに○	最もあてはまる もの1つに○
家庭の問題	1. 家族関係の不和	1	1
	2. 育児の悩み	2	2
	3. 介護疲れ	3	3
健康問題	4. 身体の病気の悩み	4	4
	5. うつなどこころの病気の悩み	5	5
	6. 障害の悩み	6	6
	7. 妊娠や出産のこと	7	7
経済・生活 問題	8. 借金など負債のこと	8	8
	9. 失業	9	9
	10. 生活費の悩み	10	10
勤務問題	11. 仕事内容や労働条件	11	11
	12. 職場の人間関係	12	12
男女問題	13. 恋愛、結婚の悩みなど	13	13
学校問題	14. 学習や活動のこと	14	14
	15. 学友・教師との人間関係の悩みなど	15	15
孤独感・ 近隣関係	16. 独居・同居・近所付き合い等の悩みなど	16	16
17. その他（ ）		17	17

問 24-2 あなたは、自殺したいと思ったときにだれか（どこか）に相談したことがありますか。（1つに○）

1. 相談したことがある                      2. 相談していない

鹿児島市

市民用（一般）調査票

問 24-3 あなたは、自殺したいと思ったときにだれ（どこ）に相談しましたか。または相談しようと思いませんか。（ア～ソの項目ごとに1つに○）

	1. 相談したことがある	2. 相談したことはないが、相談しようと思う	3. 相談しないと思う
ア. 家族や親族	1	2	3
イ. 友人・知人	1	2	3
ウ. 学校	1	2	3
エ. 職場	1	2	3
オ. 近所の人（町内会の人や民生委員など）	1	2	3
カ. ゲートキーパー	1	2	3
キ. 医療機関（内科や整形外科など）	1	2	3
ク. 医療機関（精神科や心療内科など）	1	2	3
ケ. 市役所・いのちの電話等の相談機関	1	2	3
コ. 子育て世代包括支援センター（保健センター）	1	2	3
サ. 長寿あんしん相談センター	1	2	3
シ. 警察	1	2	3
ス. SNS による相談窓口（ネットポリス鹿児島など）	1	2	3
セ. インターネット上だけでつながりのある人	1	2	3
ソ. その他（ ）	1	2	3

問 24-4 あなたが、自殺したいと思った時に周囲の人のどのような対応で踏みとどまることができましたか。（あてはまるものすべてに○）

1. 話を聞いてくれた
2. 専門の相談機関への相談を勧めてくれた
3. 一緒にいてくれた
4. 言葉をかけてくれた
5. 解決方法を助言してくれた
6. いつも通り接してくれた
7. その他（ ）













**高齢者の事故やけがに関する調査へのご協力のお願い**

かねてから、鹿児島市政にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

本市では、世界基準の安心安全都市を目指して、WHO（世界保健機関）が推奨する「セーフコミュニティ」の活動に取り組んでいます。2016年1月に国際認証を取得し、現在、2020年度の国際認証の再取得に向けて取組を推進しています。

今回の調査は、高齢者の事故やけがの実態の把握と、これまでのセーフコミュニティの取り組みによる効果の検証等のために実施するものです。

ご多忙中、誠に恐縮ですが、調査趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

※ この調査結果は、セーフコミュニティの推進に関する以外の目的では一切利用いたしませんので、率直なご意見をお聞かせくださいますよう、お願いいたします。

セーフコミュニティとは、「事故やけがは原因を調べ対策を行うことにより、予防できる」との考えのもと、さまざまな統計データやアンケートなどの分析結果に基づき、地域住民、行政、関係団体などが協働して事故やけがを予防する取り組み、またはその取り組みを進めているコミュニティのことです。

本市では、交通安全、学校の安全、子どもの安全、高齢者の安全、DV防止、自殺予防、防災・災害対策の7つを重点分野として取り組みを進めています。



※回答方法などについては、裏面をご覧ください。

● 回答にあたってのお願い

- 1 調査対象としている方がご回答ください。(ご本人様にご回答できない場合は、ご家族の方などが、可能な範囲で聞き取り等を行いご回答ください。)
- 2 年齢などについては、令和元年7月1日(月)現在でご回答ください。
- 3 回答の選択肢の中からあてはまるものを選んでください。  
質問ごとに回答数が決まっていますので、ご注意ください。  
(「1つ」「あてはまるものすべて」など)  
また、カッコ内には適切な言葉をご記入ください。
- 4 **令和元年9月10日(火)まで**に、ご回答をお願いします。
- 5 本調査に関してご不明な点などございましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。

● 回答方法のご案内

< 郵 送 >

回答用紙に記入の上、同封の返信用封筒(切手不要)に封入してポストに投函してください。

< インターネット >

下記QRコードを読み取るか、下記URLを直接入力して、回答フォームに接続してください。

< パソコン >



< スマートフォン >



携帯電話(フィーチャーフォン)及びスマートフォンの一部(Android4.4以前またはiOS4以前)はご利用いただけません。

パソコン <https://www.shinsei.elg-front.jp/kagoshima2/uketsuke/dform.do?id=1564485435860>

スマートフォン <https://www.shinsei.elg-front.jp/kagoshima2/uketsuke/sform.do?id=1564485435860>

お問合せ先

〒892-8677

鹿児島市山下町11-1 鹿児島市 危機管理局 安心安全課

セーフコミュニティ推進係

電話216-1512 FAX226-0748

鹿児島市

市民用（高齢者）調査票

## 令和元年度 事故やけがに関する調査（高齢者）

※あてはまる番号等に○をつけてください。カッコ内には適切な言葉をご記入ください。

## 1 あなた（封書の宛名の方）のことやお住まいについて

問1 あなたの性別などについてお聞きします。

(1) 性別	1. 男	2. 女
(2) 年齢 ※7月1日現在	( ) 歳	
(3) 就労状況	1. 就労している	2. 就労していない

問2 あなたのお住まいについてお聞きします。

(1) 現住所 ※町名まで	鹿児島市 ( ) 例) 山下町、谷山中央4丁目	
(2) 小学校区	1. ( ) 校区	2. わからない
(3) 世帯構成	1. 単身	2. 夫婦のみ
	3. 親子など、家族と同居	4. その他

## 2 セーフコミュニティについて

問3 あなたは、事故やけがを防ぐためには、地域住民や行政、関係団体が一緒になってその予防に取り組む必要があると思いますか。（1つに○）

1. 思う                      2. 思わない

問4 あなたは、鹿児島市が「セーフコミュニティ」に取り組んでいることを知っていますか。（1つに○）

1. 内容も含めて知っている                      2. 聞いたことはある  
3. 知らない

&lt;セーフコミュニティとは&gt;

「事故やけがは原因を調べ、対策を行うことによって予防できる」との考えのもと、さまざまな統計データやアンケートなどの分析結果に基づき、地域住民、行政、関係団体などが協働して事故やけがを予防する取組のこと。または、その取組を進めているコミュニティ。

鹿児島市

市民用（高齢者）調査票

## 3 交通安全について

問5 あなたは、この1年間（平成30年7月から令和元年6月まで）に交通安全教室（講習会などを含む）に参加したことがありますか。（1つに○）

1. 参加したことがある } → 問6へ  
 2. 参加したことがない → 問5-1へ  
 3. わからない }

問5で『2. 参加したことがない』と回答された方にお聞きします。

問5-1 あなたが、交通安全教室に参加したことがない理由は何ですか。  
 （あてはまるものすべてに○）

1. 興味がないから  
 2. 参加の仕方が分からないから  
 3. 自分に関係がある内容ではないから  
 4. 時間や場所など参加条件が合わないから  
 5. 実施していることを知らなかったから  
 6. その他（ ）

問6 あなたは、歩行者に関する以下の交通ルール・マナーを知っていますか。また、実際に守っていますか。

（1～5の項目ごとに、ア・イそれぞれについて「はい」「いいえ」のいずれかに○）

	ア. 知っている		イ. 実践している	
	はい	いいえ	はい	いいえ
1. 道路を渡る時は、横断歩道、歩道橋を通行する	はい	いいえ	はい	いいえ
2. 道路を渡る時は、必ず左右の安全を確認し、飛び出し、斜め横断はしない	はい	いいえ	はい	いいえ
3. 歩行者信号に必ず従う	はい	いいえ	はい	いいえ
4. 夜間、道路を歩くときは夜光反射材を着用したり、懐中電灯を持ち歩く	はい	いいえ	はい	いいえ
5. 歩道のないところでは、道路の右側を歩く	はい	いいえ	はい	いいえ

問7 あなたは、自動車を運転しますか。（1つに○）

1. 運転する } → 次のページ、問7-1へ  
 2. たまに運転する }  
 3. （運転免許を持っているが）運転しない } → 次のページ、問8へ  
 4. 運転免許を持っていない }



鹿児島市

市民用（高齢者）調査票

問7で『1. 運転する』又は『2. たまに運転する』と回答された方にお聞きします。

問7-1 あなたは、次の自動車の運転に関する交通ルール・マナーを知っていますか。  
また、実際に守っていますか。

（1～5の項目ごとに、ア・イそれぞれについて「はい」「いいえ」のいずれかに○）

	ア. 知っている		イ. 実践している	
	はい	いいえ	はい	いいえ
1. 横断歩道を渡る歩行者等がいる場合は一時停止する	はい	いいえ	はい	いいえ
2. 酒気を帯びて運転してはならない	はい	いいえ	はい	いいえ
3. 運転中は、カーナビ・携帯電話などの操作を行わない	はい	いいえ	はい	いいえ
4. 夕暮れ時は、早めにライトを点灯する	はい	いいえ	はい	いいえ
5. 歩行者、自転車の傍を運転するときは、安全な間隔を空けるか徐行する	はい	いいえ	はい	いいえ

問8 あなたは、自動車に乗車するときは、後部座席の同乗者も含め、シートベルトを着用しなければならないことを知っていますか。また、実際に着用していますか。

（1～3の項目ごとに、ア・イそれぞれについて「はい」「いいえ」のいずれかに○）

※運転しない、運転免許を持っていない等の理由で運転席を使用しない場合は、「イ. 着用している」の回答欄は「はい」に○をしてください。

	ア. 知っている		イ. 着用している	
	はい	いいえ	はい	いいえ
1. 運転席のシートベルト着用	はい	いいえ	はい	いいえ
2. 助手席のシートベルト着用	はい	いいえ	はい	いいえ
3. 後部座席のシートベルト着用	はい	いいえ	はい	いいえ

問9 あなたは、夜間や薄暗いときに外出する際、夜光反射材を活用することの効果を知っていますか。（1つに○）

1. 知っている                      2. 知らない







鹿児島市

市民用（高齢者）調査票

問 14-1 で『3. 食生活の改善』に取り組んでいると回答された方にお聞きします。

問 14-4 食生活の改善で気をつけている点や、取り組んだことは何ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 3食きちんととるようにしている
2. バランスのよい食事に気をつけている
3. 適量をとるようにしている
4. 食生活の改善のための料理教室などへの参加
5. その他 ( )

問 14 で『2. 取り組んでいない』と回答された方にお聞きします。

問 14-5 転倒の予防に関して、取り組んでいない理由は何ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 健康状態や体力に不安がないから
2. 他にやることがあるから
3. 時間がとれないから
4. 何をすればよいか分からないから
5. 転倒予防教室などの情報を知らないから
6. 転倒予防教室などは1人で参加しにくいから
7. 転倒予防教室などの開催場所が遠いから
8. その他 ( )

問 15 次のうち、あなたが転倒予防のために取り組みたいと思うものは何ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 日頃からの体力づくり
2. 運動能力や筋力の向上のための教室などへの参加
3. 食生活の改善
4. 副作用（めまいや、ふらつきなど）への注意
5. 環境の整備（住宅の改修や履物の注意など）
6. その他 ( )









鹿児島市

市民用（高齢者）調査票

問 24 で『1. 考えたことがある』と回答された方にお聞きします。

問 24-1 自殺を考えたときの原因は何ですか。

（あてはまるものすべてに○、その中で最もあてはまるもの1つに○）

		あてはまるもの すべてに○	最もあてはまる もの1つに○
家庭の問題	1. 家族関係の不和	1	1
	2. 育児の悩み	2	2
	3. 介護疲れ	3	3
健康問題	4. 身体の病気の悩み	4	4
	5. うつなどこころの病気の悩み	5	5
	6. 障害の悩み	6	6
	7. 妊娠や出産のこと	7	7
経済・生活問題	8. 借金など負債のこと	8	8
	9. 失業	9	9
	10. 生活費の悩み	10	10
勤務問題	11. 仕事内容や労働条件	11	11
	12. 職場の人間関係	12	12
男女問題	13. 恋愛、結婚の悩みなど	13	13
学校問題	14. 学習や活動のこと	14	14
	15. 学友・教師との人間関係の悩みなど	15	15
孤独感・近隣関係	16. 独居・同居・近所付き合い等の悩みなど	16	16
17. その他（ ）		17	17

問 24-2 あなたは、自殺したいと思ったときにだれか（どこか）に相談したことがありますか。  
（1つに○）

1. 相談したことがある                      2. 相談していない





鹿児島市

市民用（高齢者）調査票

問 24-3 あなたは、自殺したいと思ったときにだれ（どこ）に相談しましたか。または相談しようと思いませんか。（ア～ソの項目ごとに1つに○）

	1. 相談したことがある	2. 相談したことはないが、相談しようと思う	3. 相談しないと思う
ア. 家族や親族	1	2	3
イ. 友人・知人	1	2	3
ウ. 学校	1	2	3
エ. 職場	1	2	3
オ. 近所の人（町内会の人や民生委員など）	1	2	3
カ. ゲートキーパー	1	2	3
キ. 医療機関（内科や整形外科など）	1	2	3
ク. 医療機関（精神科や心療内科など）	1	2	3
ケ. 市役所・いのちの電話等の相談機関	1	2	3
コ. 子育て世代包括支援センター（保健センター）	1	2	3
サ. 長寿あんしん相談センター	1	2	3
シ. 警察	1	2	3
ス. SNS による相談窓口（ネットポリス鹿児島など）	1	2	3
セ. インターネット上でつながりのある人	1	2	3
ソ. その他 ( )	1	2	3

問 24-4 あなたが、自殺したいと思った時に周囲の人のどのような対応で踏みとどまることができましたか。（あてはまるものすべてに○）

1. 話を聞いてくれた
2. 専門の相談機関への相談を勧めてくれた
3. 一緒にいてくれた
4. 言葉をかけてくれた
5. 解決方法を助言してくれた
6. いつも通り接してくれた
7. その他 ( )







鹿児島市

市民用（高齢者）調査票

## 7 桜島の防災について（桜島にお住まいの方対象）

問 28～問 33 は桜島にお住まいの方にお聞きします。

桜島以外にお住まいの方は、次のページ、問 34 へお進みください。

鹿児島市役所が行っている避難の手順について

問 28 住民避難用マニュアル（避難手順書）についてお聞きします。

（ア～エの質問ごとに1つに○）

ア、住民避難用マニュアルを知っていますか。	1. 知っている	2. 知らない
イ、住民避難用マニュアルをすぐに確認することはできますか。	1. できる	2. できない
ウ、訓練で住民避難用マニュアルを活用しましたか。	1. 活用した	2. 活用していない
エ、住民避難用マニュアルの内容はどうでしたか。	1. 訓練での避難に役立った 2. 役に立たなかった  ※『2. 役に立たなかった』と回答した方にお聞きします。 どのように改善したらよいと思いますか。 ( )	

問 29 火山噴火に関する「避難勧告」が出される前に、自主的に避難する場合、事前に避難したことをだれに伝えようと考えていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. だれにも伝えない
2. 近所の人
3. 町内会長
4. 消防団員
5. 民生委員
6. その他（家族など）
7. わからない

問 30 鹿児島市が開催する桜島火山爆発総合防災訓練に参加したことがありますか。

（1つに○）

1. ほぼ毎年参加している
2. 参加したことがある
3. 参加したことはない

